

海外展開のススメ

支援メニュー編

物流拠点としての境港

国際物流センター
とビジネス

「ポートセールス」とは、港を利用してもらうために企業へ働きかける活動のことです。境港でも利用促進に力を入れており、今回は、その業務を担う境港貿易振興会の岩田朗事務局長に、助成制度を中心とした話を伺いました。

「境港貿易振興会はどのような団体ですか。」

「山陰両県や中海周辺の市町村、境港を利用する企業など、約108団体で構成される任意団体です。県内外での境港利用促進セミ

ナーの開催や物流展示会への出席、船会社や荷主企業への訪問などを通じて、境港のPRに取り組んでいます」

「助成制度について教えてください。」

「コンテナ貨物は、20

フィート換算でTEUという単位を用います。新規に境港を利用した企業には1TEU当たり2万円、過去3年間の平均より取扱量が増えた場合は1万円を助成します。さらに陸送費として5000円、冷凍・冷蔵コンテナには2万円を上乗せします。小口混載や国際フェリー、RORO船向けの助成もあり、利用状況に応じた制度を整えています」

「境港を利用するメリットは何でしょうか。」

「主要港では、混雑により荷役や貨物の受け取りに時間を要することもあります。境港では柔軟で迅速な対応が可能です。こういったサービスは、使ってみないとわかりません。そこで、お試し利用を支援する『環境負荷低減トライアル助成』を設け、経費の1/2、最大50万円を助成しています。利用企業からは『一度使ってみたら良かった』との声も聞かれました。本格的に物流ルートを開拓する事例も増加しています」

「企業の皆さんにメッセージをお願いします。」

「漁港のイメージが強い境港ですが、釜山航路や国際フェリー航路、日韓フェリーなど、多様な物流選択肢を有する国際貿易港です。CO₂削減やBCP（事業継続計画）の観点からも、ぜひ境港の活用をご検討ください」

インタビューを終えて

国際物流が海外取引において重要な役割を担ってい

ることを改めて感じました。とっとり国際ビジネスセンターでも輸出入の物流に関する相談に対応しています。詳しくは、当センター（☎30-3161）まで。

